

挖

		▨	■	□	凡
		亲木根除中	伐擦完了	整地完了	例

不齐

十九航地作命甲第二三號

第十九航空地区司令部命令

昭和十九年九月二十三日

一 緊迫セル戦局ニ鑑ミ軍ハ現行飛行場ノ設定方針ヲ変更セリル

二 第十九航空地区司令部ハ軍命令ニ基キ兵力及資材ヲ転用

シテ一部ノ既設飛行場並ニ附設設備ヲ急設スルト共ニ依然

第三十五飛行團ニ協力セントス

三 第三飛行場中隊長ハ東南西飛行場ノ作業ヲ一時中止シ

中隊ノ全力ヲ以テ北飛行場ニ展開シ該地勤務隊長ノ任

務ヲ継承スルト共ニ該飛行場ノ誘導路掩体燃弾防護

施設ヲ促進スベシ 是等ノ施設作業ニ関シテハ北飛行場設

定擔任天野少尉ヲ指揮スベシ 但シ航空本部ニ於テ突

施ノ作業ハ其ノ区別ヲ明瞭ナラシムベシ

東及南飛行場設定用資材ハ別紙資材取扱表ニ基キ中

北伊豆島飛行場ニ七月二日迄ニ移譲ヲ完了スベシ

又飛行場警備ニ関シテハ第三十七高射砲中隊中隊長

主要兵器差出区分表

区分	九龍地区	五の地区	飛大地区	那地区	分隊	機	平
右輪							
自動貨車	三	一					
乗用車							
補給車						三	
給油車							二
スプリング車							
夜間着陸指導装置							
油圧圧重機							
野火栓手入具							
野外用計測器試練器							
酸素計替器							
野外用二号発電機							
充電器具							
電氣計器							
発動機運搬車							
一噸引上り車							
二噸引上り車							
九二六電話機							
被覆線	一六	一					
一十九號地作命第十九號別隊							
備							
二五〇飛大の差出器材							
二食渡スルト共ニ其他の携行器材							
ルモトス							
三三飛中の兵器							
四差出器材の検査							
考							

昭和十七、五、本誌附

東南飛行場設定資材(飯場材料)

ヲ念ヒ轉用ニ伴フ細部指示

一軌條ハ介解スルモトナリ現在ノ儘設置スルモトス

但シ他設定隊ノ請求ニ應ジ稜管スルモトアリ

二使用セザル軌條部品ハ轉行スルモトナリ地区司令部ニ

送外スルモトス之ガ輸送ハ送外部隊担任トス

三轉至機ハ設置シ軌條ト共ニ村長若クハ責任者ヲ選

定シ監視セシムルモトス

四台車箱ハ東ハ中ニ讓渡シ南ハ北ニ轉行スルモトス

五南ハダイヤナリト並ニ鉄棒ハ半数ヲ中ニ四分一ヲ伊江島

ニ夫々讓渡シ残りノ四分一ハ北ニ轉行スルモトス

六南東ノ設定資材消耗品ハ半数ヲ中ニ讓渡シ殘余ハ

北ニ轉行スルモトス

七飯場ノ建物以外ノ全部(炊事具一六其他燃料材料)

東ハ中ニ讓渡シ南ハ北ニ轉行スルモトス

八第四項ノ後輸送ハ被讓渡部隊兼行部隊夫々担

任トシ稜管ノ器材ノ移動前ニ係將校ノ立會ヒモトニ稜

管スルモトス

輸送機關不足シアル時ハ速カニ地区司令部ニ報告スルモ

トス

九輸送急ヲ要スル器材以外ハ勢ノテ馬車ヲ利用シ燃料

ノ節約ヲ計ルモトス

十各設定隊長ハ展開完了後成ル可ク速カニ稜管輸送

ノ概況(負數ヲ明確ニス)ヲ地区司令部ニ報告スルモトス

方針
 増加勤勞者輸送計畫
 鐵道亦ハ船舶ノ利用ヲ適切ニシテ勤勞者ノ飛行場一
 集合ヲ整齊円滑ナラシム
 昭和十九年六月三十日
 陸軍

手	備	伊予飛行場勤勞者				北飛行場勤勞者			中飛行場勤勞者		輸送区
		250名	250名	250名	250名	350名	350名	300名	500名	500名	
		第一回	第二回	第三回	第四回	第一回	第二回	第三回	第一回	第二回	順序
		7/7	7/7	4/7	3/7	3/7	3/7	3/7	1/7	1/7	集令
		港	轟	那	那	那	那	那	城	城	集令
		7/7	8/7	5/7	4/7	3/7	3/7	3/7	1/7	1/7	集令
		頭	埠	島	以	伊	伊	嘉	嘉	嘉	集令
		1/7	9/7	6/7	5/7	5/7	3/7	3/7	1/7	1/7	集令
					1/7	1/7	1/7	1/7	1/7	1/7	集令

一勤勞者交代ハ中飛行場ハ毎月一日十一日二十日トシ北飛行場ハ三日十三日二十三日トシ
 二伊予島勤勞者船船諸君ハ長官長官トシ
 三伊予島勤勞者船船諸君ハ長官長官トシ
 四加部ハ勤勞者中尉カシテ指示セシム

極秘

五。飛大作命第六一號

第五十飛行場大隊命令

六月三十日一三〇。伊江島兵舎

一 緊迫セル戦局ニ鑑ミ、軍ハ現行飛行場ノ設定方

針ヲ変更セラル

第十九航空地区司令部ハ、沖繩本島南西飛行

場ノ作業ヲ一時中止シ兵力及資材ヲ轉用シテ一

部ノ既設飛行場竝ニ附屬設備ヲ急設スルト共ニ

依然第二十五飛行團ニ協力ス

第三飛行場中隊ハ沖繩本島東南西飛行場ノ

作業ヲ一時中止シ其ノ全カヲ以テ同島北飛行場

ニ展開シ派遣隊ト任務ヲ交代スル筈

二 大隊近ク復歸スル補給中隊ノ主力ヲ併セ指揮

シ新夕ニ先ツ既設ノ中飛行場ノ誘導路掩体及

燃彈防護施設ヲ七月末迄ニ完成シ次テ東飛

行場ノ滑走路及中飛行場副滑走路ヲ完成

セントス

三 中飛行場作業隊長ハ現行實施中ノ誘導路

掩体及燃彈防護施設ヲ七月末迄ニ完成シ次

テ當初計畫ノ中飛行場副滑走路ヲ逐次完

成スベシ

之ガ爲新三人走約一〇〇名(恩納金武名護)

ヲ配屬ス

四 東飛行場作業隊長ハ前項又夫ヲ中飛行場

作業隊ニ配屬スルト共ニ殘餘人員ヲ以テ新滑

走路ノ作業ヲ續行スベシ

五 各作業隊長及敬言備隊長ハ伊飛設命第二ニ號ノ
防空施設^ヲ一層強固ニシ敵ノ砲爆撃ニ對シ撃
墜及自存ノ處置ニ万遺憾ナカラシムルト共ニ飛行
場ノ敬言備ニ関シ遺漏ナキヲ期スベシ
六 大隊兵器委員ハ沖繩本島南飛行場ニ於テ
「ダイナマイト」^ヲ鐵棒ノ各四分ノ一ヲ受領シ伊江
島ニ輸送スベシ
七 予ハ設定隊本部ニ在リ

下達法 將校ヲ集メ口達後印刷文件
配布先

32 A
19 AB
3 AC
派遣隊

極

秘

伊飛設命第三〇號

伊江島飛行場設定隊命令

六月三十日 伊江島兵舎

一本三十日名護第三中學校勤勞奉仕隊一三二

名到著又

二前項勤勞奉仕隊又東飛行場作業隊二

配屬又

下達法

口達後印刷文件

報告通志

32A 19aB 滋遣隊

五〇飛大日命第六八節

第五十飛行場大隊日々命令

一別紙通り昇給ヲ命ズ

六月三十日
伊江島兵舎

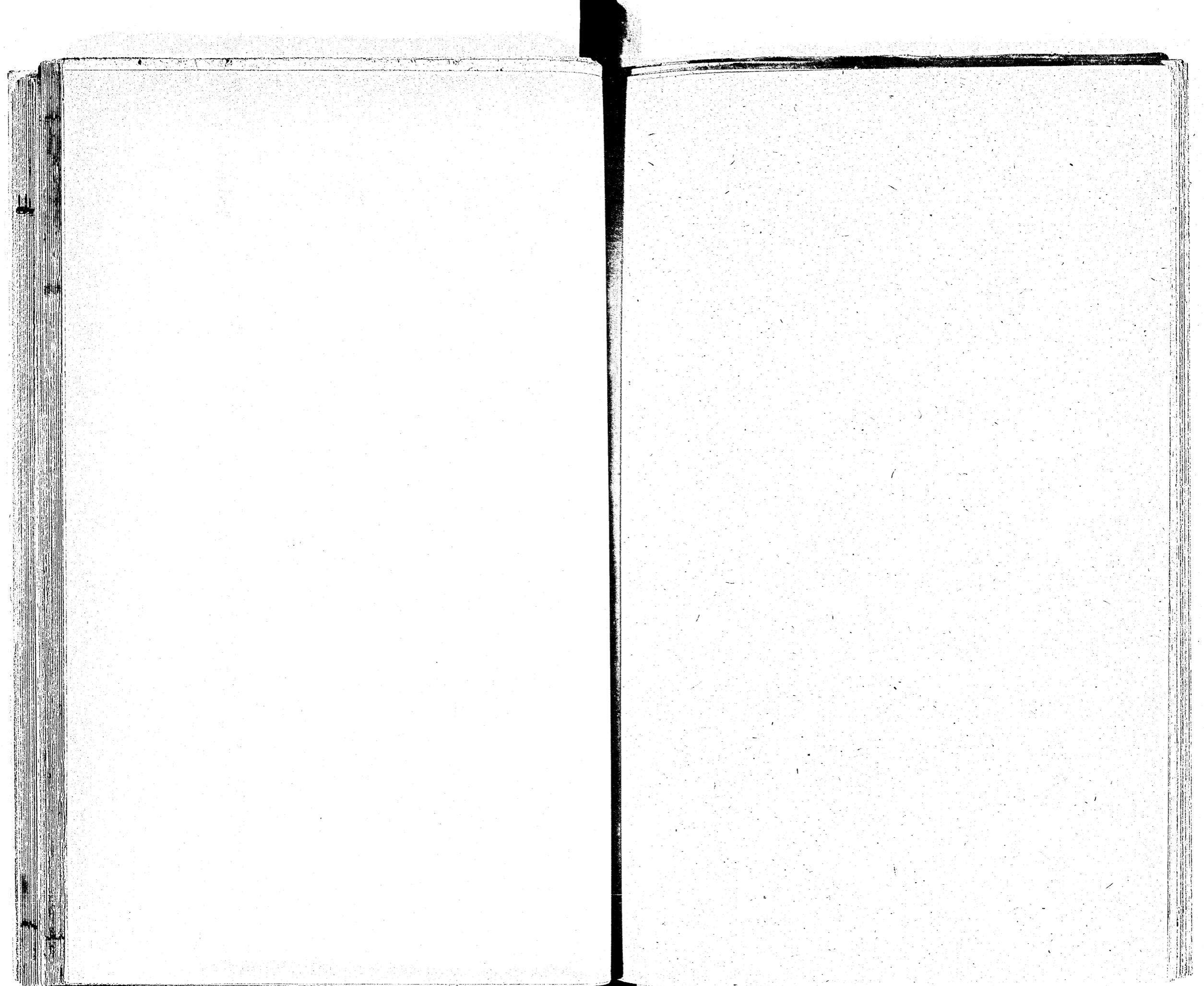
陸

軍

命令別紙

陸軍

給一等給		水部曹長	幾井	給	警中軍曹長	橋建太郎
同	同	森川	義	同	同	出崎仁太郎
同	同	佐藤	茂義	水部衛生曹長	小針	茂正
給二等給		警中曹長	村尾	賞	補中軍曹	男谷
本部軍曹	長田	三郎				孝
給三等給		警中曹長	村田	喜一	警中曹長	齋藤
補中曹	長	宣雄	補中曹	長	齋藤	黄榮
警中曹	長	伊藤	佐次郎	吉野	藤	



WD# 151982

自昭和十九年六月一日
至昭和十九年六月三十日
軍事秘密

陣中日誌 第三號

第五十飛行場大隊
嘉手納警備中隊

RS 76821
Cinopac-Cinopor
B-1244
OKINAWA 26 April 1950

21439

Handwritten notes and scribbles in the upper left corner.